

より短い時間でより高い成果を上げるためには？  
大手外資系企業を19期連続増収増益に導いたレジェンド経営者が語る  
「世界標準の働き方」6月20日発売

全ビジネスマン必読！目からウロコの「吉越流超効率仕事法」の極意が分かる一冊！

2014年6月20日(金)刊行 定価:1400円+税

長々と残業し睡眠時間を減らした結果、仕事の効率が下がりました残業が増える—それがこれまでの日本人の働き方でした。しかしその一方で「残業ゼロ」をうたって大手外資系企業を19期連続増収増益に導いたのが、平成の名経営者100人にも選ばれた吉越浩一郎氏。「早期会議」「デッドライン」「完全ノー残業デー」「がんばるタイム」などのユニークな制度を生み、より短い時間でより高い成果を上げる「世界で通用する働き方」とは？驚異的に会社の生産性をアップさせた「吉越流超効率仕事法」とは？リーダーを目指す人はもちろん、全ビジネスマン必見のスキル満載、「世界標準の働き方」が6月20日より全国で発売が開始となります。

本書で紹介された内容(一部抜粋)

- 仕事はゲームと割り切り、全力を投入する
- 残業ゼロで心も体も最高の状態にする
- 思い切った決断はするな。日々の小さな判断を重ねよ
- 担当者に考えさせれば、2分で上司の仕事は終わる
- スピードアップにはデッドラインをどんどん付ける

■本書の主な構成(一部抜粋)

序章: 日本式ガラパゴス仕事から脱しよう

第1章: すべての仕事は「コンクール」の原理で動く

第2章: フラフラになるぐらいに頭を使って仕事をしよう

第3章: リーダーは計画より実行を最優先せよ

第4章: 1分も無駄にしない「スピード勝負」の働き方

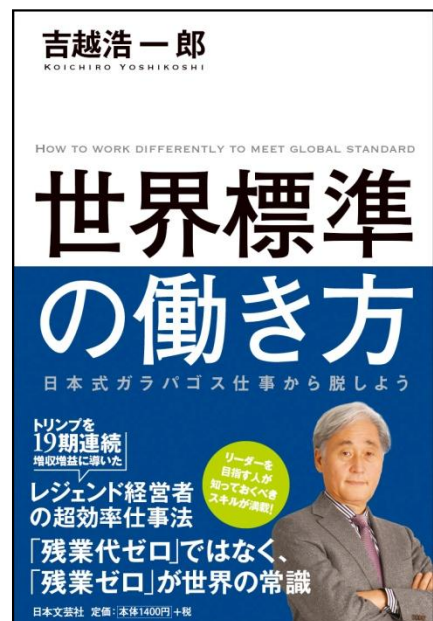
第5章: 英語ができなければ「世界標準」にはなれない

第6章: 日本人が知らない「世界の常識」

■著者紹介: 吉越浩一郎(よしこし こういちろう)

1947年千葉県生まれ。ドイツ・ハイデルベルク大学留学後、1972年に上智大学外国語学部ドイツ語学科卒業。極東ドイツ農作物振興会、メリタジャパン、メリタ香港の勤務を経て、1983年、トリンプ・インターナショナル(香港)に入社。1987年、トリンプ・インターナショナル・ジャパンの代表取締役副社長、1992年、同社の代表取締役社長に就任。「デッドライン」「残業ゼロ」「早期会議」など、スピード・効率重視の即断即決経営を武器に、在任中に19期連続増収増益を達成。2004年に「平成の名経営者100人」(日本経済新聞社)の1人に出選される。

主な著書は『デッドライン仕事術』(祥伝社)、『「残業ゼロ」の仕事力』(日本能率協会)、『仕事ができる社員、できない社員』(三笠書房)、『結果を出すリーダーの条件』(PHP研究所)、『日本人は日本を出ると最強になる』(幻冬舎)など多数。



■商品概要 著者: 吉越浩一郎(よしこし こういちろう)  
定価: 本体1,400円+税  
初版発行: 2014年6月20日